

# 神戸昇天教会月報

〒652-0015 神戸市兵庫区下祇園町39番7号 神戸昇天教会

牧師 小南 晃 電話 (078) 361-4490

FAX (078) 361-4539

http://nस्क-kobeshoten.org/

振替口座 01110-2-10517

## 今年の標語

「来てみませんか？」と誘える教会を目指そう。

## 努力目標

- ◎信仰的学びの機会を増やす。
  - ◎地域との交流促進。
  - ◎神戸昇天教会リーフレットの作成。
- 聖語** 喜ぶ人とともに喜び、泣く人とともに泣きなさい。(ロマ12:15)

## 麦畑に身を置いて

～み言葉に仕え、人々に応えたい～

目を上げて畑を見るがよい。色づいて刈り入れを待っている。

(ヨハネ4章35節)

聖職候補生 リチャード 池澤 隆輝

### 学校勤務

神戸国際大学附属高等学校に勤務しています。勤務は2年目ですが、常勤としては1年目です。

去年は、週に3日の出勤でしたが、今年は週に5日です。2日ばかり、勤務日が増えただけですが、去年までには経験しなかった様々な案件に触れるようになり、学校勤務の奥の深さ、難しさを実感しています。

成長の途上にある生身の子どもたちに触れるのは、全身を用い、心を用います。体力勝負の毎日です。

### 魂の渇き

生徒指導や特別支援(学習障害や不登校などのサポートです)の対象である生徒に、個別に触れる中で、宗教的な意味に限らずですが、まさに魂の問題として解決あるいは救いの必要が求められている場面が出てきます。

そのような「目立つ」生徒でなくとも、多くの子どもたちが、自分の内面の世界で、光や希望、自分の生き方のしっかりとした見通しのよさうなものを求め、抱えながら毎日を送っていることが分かってきました。

わたしはチャプレンとしてはもちろん、まず一人のキリスト者として、こうした子どもたちに寄り添う必要を感じています。

喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさいと呼びかけた聖パウロ、自分を空しくして人々に寄り添った主キリストの生き方一決して真似はできませんが一を目指して、彼らとともに学校生活を送ることができるよう、神に助けを求めています。

### 求められている

宗教とは、生活であると思いますが、現代人の生活では縁のないものです。キリスト教主義学校である神戸国際大附属でも、そういった雰囲気であるだろうと感じていました。

しかし、祈りとは、例えば会議の前のオマケ以上のものであるのかも知れないと、徐々に感じ始めています。

キリスト教主義学校勤務となる

と、一般の教職員の方々の無理解や、行事ごとにおける協力が課題となるものです。

しかし、退職の日まで、職員朝礼での「朝の祈り」を本当に大切にしておられた先生、「仏教徒です。」と言いながら、ほとんど毎日のように、昼の祈りに出席する生徒、個人的に学年礼拝での感想を述べる生徒など、何らかのかたちで、聖書の言葉は、学校関係者の耳に、心に、響いているのだということが、おぼろげながら分かってきました。

### 伝道

学校での、わたしの卑近な例ではありますが、やはり人々は、求めているのだと思います。神なのか、教えなのか、すがるものなのか、癒されるものなのか、何か答えなのか、それぞれだと思えます。

同じことは、教会の立地する地域、病院、人の集うところは、あらゆるところで、キリストの働かれるべき伝道の間なのだと思います。

わたしたちキリスト者が、臆することなく、人々の必要に応えるとき、その人々の心に神が宿られるよう、切実に願っています。

そのような召命を身に帯び、今日も明日も神の国のために、全身で仕えていきたいと思えます。

## 定例集会

日 午前7時 早朝聖餐式  
 " 9時15分 教会学校  
 " 10時30分 聖餐式・説教  
 午後6時 夕の礼拝

火 午前10時30分 聖書研究会  
 土 午前10時30分 教会掃除  
 (ご奉仕をお願いします)